

## Ⅱ 総括

# 1 特別対策事業の総括

## 全体総括

施策の点検・評価の役割を担う県民会議では、事業の進捗状況、モニタリングの調査結果、県民視点からの事業モニターや県民フォーラムの意見等を踏まえて、11の特別対策事業の多面的な評価を行った。

令和6年度における11事業全体の事業費の執行状況ならびに事業進捗については、一部の事業を除き、概ね計画どおりであった。

森林関係事業では、荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山地域やその周辺地域でのシカ管理、ブナ林再生のための調査研究等に取り組んだ結果、人工林の手入れ不足は解消しつつあり、下層植生の回復や、健全なブナの個体数の割合が向上する等の成果が確認されているが、想定された下草の回復が見られない箇所もある等、水源環境の回復に向けた課題もある。水源林の確保事業では、確保対象として残されているのは、小規模又は権利関係が複雑・不明確な森林が多く、確保が困難となっている。また、森林整備の担い手となるかながわ森林塾の応募者数、就業者数がともに減少傾向にある。

他方、高標高域の人工林の土壌保全対策では、計画当初の想定より急峻な地形が多く早期に対応する必要があり、重点的に実施された結果、令和5年度に続き前倒しして事業を進めた結果、3年間での進捗率は137.4%と大幅な進捗となっている。

森林の公益的機能を持続させるための取組等の課題は引き続きあるものの、森林の保全・再生に関しては、概ね順調に進められていると評価できる。私有林における民間主体の持続的・自立的な森林管理につなげるため、今後は多様な視点から大綱終了後を見据えた取組が行われるように期待したい。

水関係事業では、河川・水路の自然浄化対策、地下水の保全対策、県内ダム集水域における生活排水処理施設の整備促進等が着実に進められてきた結果、河川の自然環境の改善や地下水の汚染物質の除去、生活排水処理の進展等、一定の成果が見られている。令和5年度に続き令和6年度においても、地下水汚染対策に関して全地点において環境基準を満たしたことが確認された。河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗しており、水源水質の維持・向上や安定的な地域水源の確保に繋がっている。また、相模川水系・酒匂川水系取水堰の県内集水域等における合併処理浄化槽への転換促進等に関しては、近年の生活排水処理率の上昇幅が縮小傾向にあることから、整備促進上の課題に対して地域の実情等に応じたきめ細かい支援を検討していくことで、水環境への負荷軽減に期待したい。

事業評価においては、事業の実施と並行して新たな科学的知見を反映することや、事業実施に伴う自然環境の状況を把握しながら施策の評価と見直しを行い、柔軟な施策の推進を図る必要がある。こうした順応的管理の考え方の下、第4期の取組として、水源林の土壌保全対策を強化し、流木被害の未然防止の工夫を図る等、第3期までの取組や課題を踏まえた事業が始められている。

これまでの18年間の各種モニタリングによって、各事業の2次的アウトカムに関するデータや新たな知見が蓄積しつつある。県民会議では、こうした成果を基に、既存の調査結果や環境の経済的価値の評価結果も活用しながら、令和5年度に取りまとめた総合的な評価（最終評価）報告書暫定版に基づき、令和6年度には、県民向けに分かりやすくまとめた概要版を作成した。また、シンポジウム形式の県民フォーラムを、初めて対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、より多くの方に普及啓発ができた。

気候変動による災害頻発への懸念や台風等による災害の発生状況を踏まえて、森林の生育基盤である土壌の保全を図っていくには、土壌保全対策とシカ管理対策の有機的な連携が有効である。そして、水の十分な管理や水質保持の観点からダムの堆砂対策等、水と土砂を一体のものとして施策を考えていくことも重要な課題である。よって県の関係部署において、より一層の情報共有と連携を図り、総合的な視点での事業進捗に努めていただきたい。

2 事業費実績及び進捗状況一覧

特別対策事業	第4期計画の内容 (5年間計(R4~R8)) (A)	R4年度決算 (B)	R5年度決算 (C)	R6年度決算 (D)	計 (E=B+C+D)	進捗率 (E/A)
森林の保全・再生	14,347,000千円	2,530,243千円	2,844,934千円	3,025,837千円	8,401,014千円	58.6%
水源の森林づくり事業の推進 (一般会計分を含めた金額)	6,231,000千円 (12,731,000千円)	1,162,640千円 (2,327,760千円)	1,167,998千円 (2,282,350千円)	1,106,630千円 (2,260,026千円)	3,437,268千円 (6,870,136千円)	55.2% 54.0%
①水源林の確保	3,400ha	458.5ha	483.18ha	318.59ha	1,260.27ha	37.1%
②水源林の整備	14,500ha	3,869.59ha	3,290.9ha	3,670.24ha	10,830.73ha	74.7%
③かながわ森林塾の実施 (新規就労者の育成)	50人	13人	9人	5人	27人	54.0%
丹沢大山の保全・再生対策	1,546,000千円	251,395千円	241,331千円	247,984千円	740,710千円	47.9%
①中高標高域シカ管理捕獲	150箇所	35箇所	34箇所	30箇所	99箇所	66.0%
②ブナ林等の再生	-	-	-	-	-	-
③県民連携・協働事業	-	-	-	-	-	-
土壌保全対策の推進	1,826,000千円	308,627千円	523,472千円	723,182千円	1,555,281千円	85.2%
①水源林の基盤整備	80箇所	11箇所	16箇所	29箇所	56箇所	70.0%
②中高標高域の自然林	47ha	12.22ha	11.3ha	2.00ha	25.52ha	54.3%
③高標高域の人工林	70ha	26.64ha	21.69ha	47.84ha	96.17ha	137.4%
間伐材の搬出促進	1,411,000千円	289,782千円	298,554千円	294,749千円	883,085千円	62.6%
①搬出事業量	130,000m <sup>3</sup>	27,083m <sup>3</sup>	29,186m <sup>3</sup>	28,477m <sup>3</sup>	84,746m <sup>3</sup>	65.2%
②生産指導事業量	50箇所	12箇所	8箇所	11箇所	31箇所	62.0%
地域水源林整備の支援	3,333,000千円	517,797千円	613,578千円	653,290千円	1,784,665千円	53.5%
①私有林確保	575ha	113ha	193.11ha	87.52ha	393.63ha	68.5%
②私有林整備	1,350ha	190ha	246.78ha	247.85ha	684.63ha	50.7%
③市町村有林の整備	380ha	90ha	81.9ha	84.71ha	256.61ha	67.5%
④高齢級間伐	50ha	8.92ha	12.41ha	7.85ha	29.18ha	58.4%
河川の保全・再生	947,000千円	148,600千円	145,400千円	195,300千円	489,300千円	51.7%
河川・水路における自然浄化対策の推進	947,000千円	148,600千円	145,400千円	195,300千円	489,300千円	51.7%
①河川・水路の整備	5箇所	3箇所	1箇所	1箇所	5箇所	100.0%
地下水の保全・再生	577,000千円	91,800千円	114,000千円	97,600千円	303,400千円	52.6%
地下水保全対策の推進	577,000千円	91,800千円	114,000千円	97,600千円	303,400千円	52.6%
①地下水保全計画の策定	-	-	-	-	-	-
②地下水かん養対策	-	-	-	-	-	-
③地下水汚染対策	-	-	-	-	-	-
④地下水モニタリング	-	-	-	-	-	-
水源環境への負荷軽減	4,562,000千円	771,959千円	684,375千円	788,985千円	2,245,319千円	49.2%
生活排水処理施設の整備促進	4,562,000千円	771,959千円	684,375千円	788,985千円	2,245,319千円	49.2%
①公共下水道整備	-	15.00ha	9.42ha	35.82ha	60.24ha	-
②一般家庭等の高度処理型浄化槽整備	-	52基	76基	62基	190基	-
③事業所等の高度処理型浄化槽整備	-	3基	3基	2基	8基	-
④一般家庭の浄化槽転換	-	75基	88基	96基	259基	-
県内水源保全地域の生活排水処理率	97.60%	95.6%	96.0%	96.1%	96.1%	28.6%
うちダム集水域の生活排水処理率	83.8%	75.3%	76.7%	76.3%	76.3%	22.7%
水源環境保全・再生を支える取組	1,520,000千円	237,893千円	394,333千円	436,729千円	1,068,955千円	70.3%
相模川水系上流域対策の推進	217,000千円	38,293千円	37,723千円	38,853千円	114,869千円	52.9%
①荒廃森林再生事業	670ha	108.35ha	106.44ha	106.66ha	321.45ha	48.0%
②広葉樹の森づくり事業	5ha	0ha	0.75ha	1.27ha	2.02ha	40.4%
③生活排水対策 (放流水の目標全リン濃度)	0.6mg/l	0.57mg/l	0.53mg/l	0.56mg/l	0.55mg/l	-
水環境モニタリングの実施	1,095,000千円	158,038千円	327,810千円	374,925千円	860,773千円	78.6%
①森林のモニタリング調査	-	-	-	-	-	-
②河川のモニタリング調査	-	-	-	-	-	-
③情報提供	-	-	-	-	-	-
④酒匂川水系上流域の現状把握	-	-	-	-	-	-
県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	208,000千円	41,562千円	28,799千円	22,951千円	93,312千円	44.9%
①県民会議の運営等	-	-	-	-	-	-
②市民事業等の支援	-	-	-	-	-	-
特別対策事業費の計	21,953,000千円	3,780,496千円	4,183,042千円	4,544,451千円	12,507,989千円	57.0%
水源環境保全税額	-	4,438,650千円	4,553,597千円	4,369,761千円	13,362,008千円	-

※ 進捗率は4期計画5年間計に対する進捗。事業によって5年間の進捗ペースに偏りがある。事業ごとの詳細は「Ⅲ 各事業の概要と点検結果」の総括を参照。  
 予算は事業内容によって5年間の配分に偏りがある。  
 千円未満切り捨てのため合計は次ページの執行額と一致しないことがある。

## 予算執行状況の内訳について

	令和4年度 当初予算額	令和4年度 執行額	令和4年度 単年度執行率	令和5年度 当初予算額	令和5年度 執行額	令和5年度 単年度執行率
<b>1 水源の森林づくり事業の推進</b>	1,343,633	1,162,640	86.5%	1,314,951	1,167,999	88.8%
①水源林の確保【特別会計分】		325,505			408,715	
②水源林の整備【特別会計分】（森林整備） （管理道、測量・調査等） （水源林事業推進費）		725,616			642,016	
③かながわ森林塾の実施	70,740	61,887		70,761	57,876	
<b>2 丹沢大山の保全・再生対策</b>	327,312	251,395	76.8%	325,527	241,331	74.1%
①中高標高域シカ管理捕獲		178,614			170,100	
②ブナ林等の再生		36,656			33,311	
③県民連携・協働事業		36,125			37,920	
<b>3 土壌保全対策の推進</b>	423,571	308,627	72.8%	696,540	523,472	75.1%
①水源林の基盤の整備		128,186			214,889	
②中高標高域の自然林		107,869			241,137	
③高標高域の人工林		72,751			67,446	
<b>4 間伐材の搬出促進</b>	305,002	289,782	95.0%	307,390	298,554	97.1%
①間伐材の搬出支援		246,447			252,974	
②生産指導活動の推進		43,335			45,580	
<b>5 地域水源林整備の支援</b>	583,530	517,797	88.7%	741,178	613,578	82.7%
①②私有林の確保・整備（市町村）		383,783			481,900	
③市町村有林の整備（市町村）		131,017			126,400	
④高齢級間伐		2,997			5,278	
<b>6 河川・水路における自然浄化対策の推進</b>	161,300	148,600	92.1%	160,900	145,400	90.3%
①河川・水路の整備		148,600			145,400	
<b>7 地下水保全対策の推進</b>	145,700	91,800	63.0%	166,000	114,000	68.6%
①地下水保全計画の策定						
②地下水かん養対策		5,300			6,000	
③地下水汚染対策		28,800			43,600	
④地下水モニタリング		57,700			64,400	
<b>8 生活排水処理施設の整備促進</b>	823,429	771,959	93.7%	942,654	684,375	72.6%
①公共下水道の整備促進		626,095			491,205	
②一般家庭等の高度処理型処理浄化槽の整備		71,993			107,301	
③事業所等の高度処理型浄化槽の整備		14,312			15,073	
④一般家庭の浄化槽転換		59,559			70,796	
<b>9 相模川水系上流域対策の推進</b>	42,880	38,293	89.3%	40,695	37,724	92.7%
①荒廃森林再生事業		19,477			18,259	
②広葉樹の森づくり事業		522			1,741	
③生活排水対策		18,293			17,724	
<b>10 水環境モニタリングの実施</b>	185,562	158,038	85.1%	431,644	327,810	75.9%
①森林のモニタリング調査		126,265			176,114	
②河川のモニタリング調査等		31,772			151,696	
<b>11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み</b>	62,768	41,562	66.2%	44,212	28,799	65.1%
①県民会議の運営等		41,077			28,205	
②市民事業等の支援		485			594	
<b>合 計</b>	4,404,687	3,780,496	85.8%	5,171,691	4,183,042	80.8%

※ 千円未満切り捨てのため、合計額が一致しないことがある。

※ 進捗率：第4期5か年計画の計画事業量を100としたときの事業の進捗状況を表わす  
 執行率：第4期5か年計画の計画事業費を100としたときの事業費の執行状況を表わす

令和6年度 当初予算額	令和6年度 執行額	令和6年度 単年度執行率
1,293,066	1,106,630	85.5%
	314,902	
	【確保手法別】 (水源協定林) (買取り) (長期受委託) (協力協約)	
	646,734	
	40,634	
	52,439	
77,586	51,919	
319,246	247,984	77.6%
	184,325	
	34,369	
	29,290	
774,510	723,182	93.3%
	467,397	
	155,777	
	100,007	
315,584	294,749	93.3%
	242,989	
	51,760	
711,036	653,290	91.8%
	518,100	
	131,800	
	3,390	
264,400	195,300	73.8%
	195,300	
135,800	97,600	71.8%
	6,800	
	16,300	
	74,500	
928,934	788,985	84.9%
	615,147	
	88,050	
	8,589	
	77,199	
46,164	38,853	84.2%
	19,158	
	841	
	18,853	
499,767	374,925	75.0%
	202,800	
	172,125	
39,080	22,951	58.7%
	22,277	
	674	
5,327,587	4,544,451	85.3%

令和5年度 歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	4,540,040千円	特別対策事業 事業費	4,183,042千円
基金運用益	52千円	基金等	2,852,033千円
寄付金	3,044千円	※令和6年度以降の財源として活用	
預金利子等	851千円	合計	7,035,075千円
基金等	2,491,086千円		
合計	7,035,073千円		

※千円未満切り捨てのため端数は一致しない

令和6年度 歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)	4,369,761千円	特別対策事業 事業費	4,544,451千円
基金運用益	3,145千円	基金等	2,683,106千円
寄付金	1,201千円	※令和7年度以降の財源として活用	
預金利子等	1,417千円	合計	7,227,557千円
基金等	2,852,033千円		
合計	7,227,557千円		

水源環境保全・再生施策に係る事業費は、県民の皆様に特別な負担をいただいている個人県民税の超過課税を主な財源としていることから、その税収額及び使途を明確にするため、特別会計の中に基金を設置して管理をしています。各年度の事業が終了した時点の不用額は、基金に積み戻し、翌年度の事業の財源として活用しています。

基金等には、超過課税と事業費の差額や、入札により予定金額より低額で事業を執行したための残額、翌年度に繰り越した事業費などが含まれています。

令和6年度に生じた基金等の残額については、令和7年度以降の財源の一部として活用される方針です。